



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL <https://www.falco-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 安田 忠史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理室長 (氏名) 黒田 修平 TEL 06-7632-6150
 半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	21,630	1.2	1,078	10.8	1,181	14.1	803	1.1
2025年3月期中間期	21,366	0.2	974	14.4	1,036	11.3	794	26.2

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,072百万円 (55.3%) 2025年3月期中間期 690百万円 (10.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	79.87	79.66
2025年3月期中間期	74.46	74.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	36,352	25,269	69.3
2025年3月期	36,019	25,253	69.9

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 25,200百万円 2025年3月期 25,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	63.00	123.00
2026年3月期	—	62.50	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	62.50	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,600	0.7	2,500	7.1	2,600	4.0	1,950	1.6	192.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	10,880,177株	2025年3月期	10,880,177株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	898,409株	2025年3月期	724,679株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	10,058,295株	2025年3月期中間期	10,670,159株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が緩やかに回復しているものの、物価上昇の継続や米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、少子高齢化の進行を背景に医療費抑制政策が一貫して進められており、物価高騰や賃金上昇を背景としたコスト上昇の影響等により事業環境は引き続き厳しい状況にあります。一方で、ゲノム医療における遺伝学的検査の重要性が注目されており、遺伝子情報を活用した個別化医療への期待が高まっております。また、調剤薬局市場におきましては、調剤報酬及び薬価の改定による影響が大きく、より厳しい事業環境となっております。医療情報システム市場におきましては、医療DXの実現に向け、情報通信、デジタル技術やデータを活用した新たなビジネスやサービスの創出が期待されております。

このような状況のもと、当社グループは、2024年5月に長期ビジョン「FALCO VISION 2030」・中期経営計画「FALCO INNOVATION 2026」を策定し、中長期的な持続的成長に向けた収益基盤を確立するために、基盤事業である臨床検査事業・調剤薬局事業の事業変革を推進するとともに、成長事業であるゲノム事業・ICT事業の更なる成長に向けた取り組みを推進しております。

当中間連結会計期間におきましては、臨床検査事業及びICT事業の売上高、営業利益が増加したことにより、売上高は21,630百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は1,078百万円(同10.8%増)、経常利益は1,181百万円(同14.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は803百万円(同1.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、大都市圏を重点地域とした事業展開を進めたこと等により、受託数は増加いたしました。また、情報化の推進による集荷体制の強化と検査業務の効率化を推進することにより、生産性が向上し、コスト構造の改善が進みました。

ゲノム事業におきましては、体外診断用医薬品「MSI検査キット(FALCO)」の販売が堅調に推移し、周産期医療に係る遺伝子検査につきましても受託数が増加いたしました。また、遺伝性腫瘍パネル検査の薬事申請・保険適用に向けた研究開発を推進しております。

このような事業展開の結果、臨床検査事業の売上高は13,416百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は936百万円(同28.8%増)となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、店舗数減少等の影響により処方箋応需枚数が減少した一方で、処方箋単価は安定的に推移いたしました。

調剤薬局店舗数は当中間連結会計期間に1店舗閉局したことにより、当中間連結会計期間末において当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は106店舗(フランチャイズ店4店舗含む)となっております。

当社グループでは、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進め、既存店舗の処方箋応需の拡大に取り組んでまいりましたが、処方箋応需枚数の減少や薬価改定による影響により、売上高は7,533百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は241百万円(同30.4%減)となりました。

③ ICT事業

ICT事業におきましては、販売活動を推進したことにより、診療所向けクラウド型レセプト総合支援サービス「レスタ」の契約数及び中小規模病院向けクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の導入数は、順調に増加いたしました。また、医療DXの推進を見据えた顧客基盤の確立とサービス価値向上に向け、新たな機能開発を推進しております。

このような事業展開の結果、ICT事業の売上高は681百万円(前年同期比26.6%増)、営業利益は166百万円(同118.7%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に有形固定資産及び投資有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べ333百万円増加し、36,352百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の増加により、前連結会計年度末に比べ318百万円増加し、11,083百万円となりました。

また、純資産は、主に自己株式の取得及びその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、25,269百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,420	9,049
受取手形及び売掛金	6,209	5,795
商品及び製品	785	1,029
仕掛品	64	79
原材料及び貯蔵品	464	463
その他	1,286	1,374
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,228	17,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,397	9,425
減価償却累計額	△5,157	△5,298
建物及び構築物(純額)	4,239	4,127
土地	5,382	5,386
リース資産	1,327	1,327
減価償却累計額	△1,208	△1,232
リース資産(純額)	119	95
その他	5,289	5,832
減価償却累計額	△3,763	△3,904
その他(純額)	1,525	1,928
有形固定資産合計	11,267	11,537
無形固定資産		
その他	543	564
無形固定資産合計	543	564
投資その他の資産		
投資有価証券	3,675	4,071
その他	2,308	2,392
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,979	6,459
固定資産合計	17,790	18,561
資産合計	36,019	36,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,284	4,413
短期借入金	400	400
未払法人税等	525	510
賞与引当金	482	503
その他	1,739	1,917
流動負債合計	7,432	7,744
固定負債		
長期借入金	844	759
退職給付に係る負債	1,652	1,630
資産除去債務	84	84
その他	750	864
固定負債合計	3,332	3,338
負債合計	10,765	11,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,307	3,307
利益剰余金	19,485	19,624
自己株式	△1,586	△1,976
株主資本合計	24,577	24,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603	873
その他の包括利益累計額合計	603	873
新株予約権	72	68
純資産合計	25,253	25,269
負債純資産合計	36,019	36,352

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	21,366	21,630
売上原価	14,817	14,733
売上総利益	6,548	6,897
販売費及び一般管理費	5,574	5,818
営業利益	974	1,078
営業外収益		
受取配当金	48	71
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	33	42
営業外収益合計	81	113
営業外費用		
支払利息	2	3
支払手数料	2	3
為替差損	4	2
保険解約損	5	—
その他	3	1
営業外費用合計	19	10
経常利益	1,036	1,181
特別利益		
投資有価証券売却益	196	108
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	199	108
特別損失		
固定資産除却損	5	1
減損損失	2	0
特別損失合計	8	1
税金等調整前中間純利益	1,226	1,288
法人税、住民税及び事業税	416	483
法人税等調整額	15	2
法人税等合計	432	485
中間純利益	794	803
親会社株主に帰属する中間純利益	794	803

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	794	803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	269
その他の包括利益合計	△103	269
中間包括利益	690	1,072
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	690	1,072

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,095	7,732	538	21,366	—	21,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	13,095	7,733	538	21,367	△0	21,366
セグメント利益	726	347	76	1,150	△176	974

(注) 1. セグメント利益の調整額△176百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△582百万円及び内部取引の消去に伴う調整額405百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,416	7,533	681	21,630	—	21,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	13,416	7,533	681	21,631	△0	21,630
セグメント利益	936	241	166	1,345	△266	1,078

(注) 1. セグメント利益の調整額△266百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△688百万円及び内部取引の消去に伴う調整額422百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2025年11月6日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

- (1) 自己株式の消却を行う理由
中長期的な株主価値の向上に向け、資本効率の向上を図るため。
- (2) 消却する株式の種類
当社普通株式
- (3) 消却する株式の総数
200,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合1.8%)
- (4) 消却予定日
2025年11月28日